



東京本社 事務所

- 本社所在地：
東京都中央区日本橋本石町3-1-2
大阪ガス都市開発日本橋ビル4階
- 事業概要：
不動産買取事業
不動産仲介事業(売買仲介および賃貸仲介)
不動産活用コンサルティング事業
- 常時使用する従業員：146名
(2025年9月時点)
- 現在の売上高：47.6億円
(2024年10月期時点)
- 法人番号：5020001084878
- Web：https://marks-house.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
花原 浩二

世のために。人のために。（企業理念）

マークスライフは「不動産の可能性を追求し世の中の困りごとを解決する」を企業理念に掲げ、心理的瑕疵物件や負動産などの難易度の高い不動産問題の解決に挑み続けています。1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに不動産業界へ足を踏み入れ、住宅メーカーでの経験を経て、不動産を"つくる"だけでなく"活かす"ことに挑戦するため当社を設立いたしました。効率が悪く利益が見込めないとされる社会課題であっても、本当に困っている人が目の前にいる以上、道徳心をもって答えのない難題に挑戦し、道徳と経済を両立させることが私たちの使命です。葬祭事業者との強固なアライアンス体制を基盤とし、全国展開による成長戦略で売上高100億円の実現を目指してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2026年の売上高100億円達成に向け、アライアンス事業の拡大と全国展開による堅実な成長を目指す。



課題

- ・全国での支店展開と人材確保による組織体制の強化
- ・アライアンス事業者数の継続的拡大
(2026年までに2,000社体制)
- ・難易度の高い物件への対応力強化と専門性の向上
- ・デジタル化による業務効率化と生産性向上

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・全国展開による市場拡大：2026年までに全国25拠点体制を構築し、地方の空き家・負動産問題にも対応できる全国ネットワークを確立
- ・アライアンス事業者数の拡大：葬祭事業者との連携を基盤に、現在1,086社から2026年2,000社まで拡大し、安定的な案件獲得体制を構築
- ・新サービス・新事業の展開：「富動産市場」「じつまど」「0円空き家管理」など新規サービスの本格展開により収益源を多様化
- ・専門性・技術力の向上：特殊清掃を含む遺品整理、リノベーション、建築請負等の技術を高度化し、他社では対応困難な案件への対応力を強化
- ・デジタル化推進：AI・IoT技術を活用した物件査定システムやマッチングプラットフォームの構築により業務効率化と顧客満足度向上を実現

実施体制

- ・経営体制の強化：代表取締役を中心とした経営陣による迅速な意思決定体制を維持し、取締役・執行役員の計画的登用により組織運営を強化
- ・地域統括責任者の配置：各地域に統括責任者を配置し、本社との連携による全国一体経営を実現
- ・専門部門の設置：アライアンス事業部、技術・品質管理部、デジタル推進部等の専門部門を設置し、各分野の専門性を向上
- ・人材採用・育成体制：士業・技術者・営業人材の計画的採用と社内研修制度の充実により、高品質なサービス提供体制を構築
- ・品質管理・コンプライアンス体制：全国統一の品質基準とコンプライアンス体制を確立し、企業信頼性を向上